

生理学研究所研究会『情報伝達物質としてのプリンの意義』

2011年10月21日(金)～22日(土)

岡崎カンファレンスセンター 2階 小会議室

代表者:九州大学 大学院歯学研究院 口腔機能解析学 二ノ宮裕三

所内対応者:生理学研究所 生体恒常機能発達機構 鍋倉淳一

1日目(10月21日金曜日)

13:25-13:30

Opening Remarks

二ノ宮裕三 (九州大学 大学院歯学研究院 口腔機能解析学)

**Session 1** 座長:加藤 総夫(東京慈恵会医科大学 医学部 神経生理学)

13:30-14:00

神経発生におけるP2Y-Ca動員系の役割

山下勝幸 (奈良県立医科大学 第一生理)

14:00-14:30

TGF- $\beta$ 1によるがん細胞運動能亢進におけるVNUTの関与

高井英里奈<sup>1</sup>, 月本光俊<sup>1</sup>, 原田均<sup>2</sup>, 澤田啓介<sup>3</sup>, 森山芳則<sup>3</sup>, 小島周二<sup>1</sup> ( <sup>1</sup>東京理科大学 大学院薬学研究科、<sup>2</sup>鈴鹿医療科学大学 薬学部、<sup>3</sup>岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科)

14:30-15:00

培養マウスアストロサイトにおけるP2X7受容体活性制御へのsplice variantの関与  
—マウス系統間における比較検討—

長澤 一樹, 木戸 悠佳, 河原 知世, 寺井 易子, 深川 愛未, 松浦 未工, 宮本 優里, 松尾 剛明, 西田 健太郎 (京都薬科大学 生命薬科学系 衛生化学分野)

15:00-15:30

P2X7受容体を介した炎症反応におけるP2X4受容体の関与

河野 鮎美<sup>1</sup>、月本 光俊<sup>1</sup>、原田 均<sup>2</sup>、小島 周二<sup>1</sup> ( <sup>1</sup>東京理科大学 大学院薬学研究科、<sup>2</sup>鈴鹿医療科学大学 薬学部)

15:30-15:50 break

**Session 2** 座長:小泉修一(山梨大学 大学院医学工学総合研究部 薬理学)

15:50-16:50

**特別講演**

**「ATP研究に関する最近の話題」**

井上和秀 (九州大学 大学院薬学研究院 薬理学分野)

16:50-17:20

**膵臓癌由来細胞の遊走能に対する細胞外ヌクレオチドの作用**

矢部 晴香、○伊藤 政明、松岡 功 (高崎健康福祉大学 薬学部 薬効解析学研究室)

17:20-17:50

**ミクログリアにおけるATPの作用に対する抑制効果とそのメカニズム**

野田 百美<sup>1</sup>, 奥野 祐子<sup>1</sup>, 井福 正隆<sup>2</sup>, 直江 智子<sup>1</sup> (<sup>1</sup>九州大学 大学院薬学研究院 病態生理学分野 <sup>2</sup>九州大学 大学院医学研究院 統合生理学分野)

17:50 事務連絡

18:00 懇親会

**2日目(10月21日土曜日)**

**Session 3** 座長:津田誠(九州大学 大学院薬学研究院 薬理学)

9:00-9:30

**ATP情報が発信されるメカニズム**

小泉修一<sup>1</sup>, 藤下加代子<sup>1</sup>, 中込宙史<sup>2</sup>, 井上かおり<sup>1</sup>, 井村誉史雄<sup>1</sup>, 小松龍平<sup>1</sup>, 柴田圭輔<sup>1</sup>, 篠崎陽一<sup>1</sup>, 平山友里<sup>1</sup>, 森澤陽介<sup>1</sup>, 武田正之<sup>2</sup>, 森山芳則<sup>3</sup> (<sup>1</sup>山梨大学 大学院医学工学総合研究部 薬理学講座 <sup>2</sup>山梨大学 大学院医学工学総合研究部 泌尿器科学講座 <sup>3</sup>岡山大学 大学院医歯薬総合研究科)

9:30-10:00

**味覚情報伝達におけるATPの役割**

吉田竜介<sup>1</sup>, 仁木真由<sup>1</sup>, 村田芳博<sup>2</sup>, 二ノ宮裕三<sup>1</sup> (<sup>1</sup>九州大学 大学院歯学研究院 口腔機能解析学 <sup>2</sup>高知大学 医学部 生理)

10:00-10:30

**UDP 誘発性マクロピノサイトーシスにおける PKD の関与**

上杉歩未、片岡彩子、齊藤秀俊、津田誠、井上和秀（九州大学 大学院薬学研究院 薬理学分野）

10:30-10:50 break

**Session 4** 座長:野田百美(九州大学 大学院薬学研究院 病態生理学)

10:50-11:20

**アデノシン受容体の活性化を介した海馬アストロサイト自発的カルシウム・オシレーション頻度の長期増強**

川村将仁（東京慈恵会医科大学 薬理学講座）

11:20-11:50

**転写因子IRF8を介したミクログリアATP受容体発現制御および神経障害性疼痛における役割**

増田隆博<sup>1</sup>、津田誠<sup>1</sup>、吉永遼平<sup>1</sup>、齊藤秀俊<sup>1</sup>、田村智彦<sup>2</sup>、井上和秀<sup>1</sup>（<sup>1</sup>九州大学 大学院薬学研究院 薬理学分野、<sup>2</sup>横浜市立大学 大学院医学研究科 免疫学教室）

11:50-12:00

**Concluding Remarks**

鍋倉淳一（生理学研究所 生体恒常機能発達機構）